

## 2 29年度の状況

### (1)水産物部

#### ①取扱高及び収益状況

事項		29年度	28年度	前期比(%)
総取扱金額(売上高)		4,848億5,658万円	4,905億5,366万円	98.84
卸売業務	数量	403,453トン	426,590トン	94.58
	金額	4,163億7,558万円	4,205億6,602万円	99.00
受託物品	数量	93,349トン	98,888トン	94.40
	金額	1,005億2,054万円	1,046億5,923万円	96.05
買付物品	数量	310,104トン	327,702トン	94.63
	金額	3,158億5,504万円	3,159億679万円	99.98
兼業業務	金額	684億8,100万円	699億8,765万円	97.85
売上総利益		222億2,206万円	230億7,621万円	96.30
受託販売手数料		55億2,680万円	57億5,413万円	96.05
買付販売利益		134億3,148万円	140億6,699万円	95.48
兼業業務利益		32億6,379万円	32億5,509万円	100.27
売上総利益率		4.58%	4.70%	
販売費及び一般管理費		214億1,025万円	215億6,190万円	99.30
営業利益		8億1,182万円	15億1,430万円	53.61
営業利益率		0.17%	0.31%	
経常利益		22億837万円	29億5,571万円	74.72
経常利益率		0.46%	0.60%	

水産物部は、前年度と比較し、減収減益となった。

受託・買付物品ともに取扱数量が減少したため、売上単価の上昇はあったものの、総売上高は、約57億円の減収となった。

売上総利益は、兼業業務利益が増加したものの、受託販売手数料及び買付販売利益が減少したため、全体では約9億円の減益となった。

また、販売費及び一般管理費は縮減したものの、営業利益及び経常利益は約7億円の減益となった。

#### ②財務状況

事項	29年度	28年度	前期比(%)
総資産	1,078億4,459万円	1,043億7,762万円	103.32
負債	610億481万円	591億9,825万円	103.05
純資産	468億3,978万円	451億7,937万円	103.68
自己資本比率	43.43%	43.28%	
流動比率	148.60%	148.76%	

財務状況は、売掛金、商品及び長期貸付金の増加等により、総資産が約35億円増加した。

純資産については、利益剰余金の増加等により約17億円増加したが、買掛金の増加等により負債も増加したため、自己資本比率は前年度とほぼ同じとなった。

流動比率は前年度とほぼ同じとなった。

(2) 青果部

① 取扱高及び収益状況

事項		29年度	28年度	前期比(%)
総取扱金額(売上高)		5,667億4,607万円	5,769億5,968万円	98.23
卸売業務	数量	1,978,376トン	1,988,942トン	99.47
	金額	5,369億9,827万円	5,465億2,334万円	98.26
受託物品	数量	1,233,870トン	1,239,648トン	99.53
	金額	3,455億2,443万円	3,510億2,321万円	98.43
買付物品	数量	744,506トン	749,294トン	99.36
	金額	1,914億7,385万円	1,955億14万円	97.94
兼業業務	金額	297億4,780万円	304億3,634万円	97.74
売上総利益		386億241万円	395億402万円	97.72
受託販売手数料		279億9,273万円	284億7,575万円	98.30
買付販売利益		79億1,993万円	81億6,607万円	96.99
兼業業務利益		26億8,975万円	28億6,220万円	93.97
売上総利益率		6.81%	6.85%	
販売費及び一般管理費		363億2,207万円	365億6,073万円	99.35
営業利益		22億8,034万円	29億4,329万円	77.48
営業利益率		0.40%	0.51%	
経常利益		29億7,780万円	39億7,108万円	74.99
経常利益率		0.53%	0.69%	

青果部は、前年度と比較し、減収減益となった。

受託・買付物品ともに取扱数量が減少し、野菜の売上単価も下落したため、総売上高は、約102億円の減収となった。

売上総利益は、受託販売手数料、買付販売利益及び兼業業務利益がいずれも減少したため、全体で約9億円の減益となった。

また、販売費及び一般管理費は縮減したものの、営業利益は約7億円、経常利益は約10億円の減益となった。

② 財務状況

事項	29年度	28年度	前期比(%)
総資産	698億9,578万円	673億2,446万円	103.82
負債	212億7,245万円	202億8,123万円	104.89
純資産	486億2,333万円	470億4,324万円	103.36
自己資本比率	69.57%	69.88%	
流動比率	273.24%	284.33%	

財務状況は、売掛金の増加等により、総資産が約26億円増加した。

純資産についても、利益剰余金の増加等により約16億円増加したが、受託販売未払金の増加等により負債も増加したため、自己資本比率は前年度とほぼ同じとなった。

流動比率は、流動負債の増加率が流動資産の増加率を上回ったため、約11.1ポイント下降した。

### (3)花き部

#### ①取扱高及び収益状況

事項		29年度	28年度	前期比(%)
総取扱金額(売上高)		817億2,472万円	842億5,968万円	96.99
卸売業務	数量	1,572,937千本	1,607,499千本	97.85
	金額	787億4,906万円	815億4,386万円	96.57
受託物品	数量	1,474,520千本	1,508,166千本	97.77
	金額	733億7,013万円	758億408万円	96.79
買付物品	数量	98,417千本	99,332千本	99.08
	金額	53億7,893万円	57億3,978万円	93.71
兼業業務	金額	29億7,565万円	27億1,583万円	109.57
売上総利益		78億6,270万円	80億8,067万円	97.30
受託販売手数料		70億7,723万円	72億8,683万円	97.12
買付販売利益		2億4,887万円	3億4,260万円	72.64
兼業業務利益		5億3,660万円	4億5,125万円	118.92
売上総利益率		9.62%	9.59%	
販売費及び一般管理費		77億5,906万円	79億466万円	98.16
営業利益		1億364万円	1億7,601万円	58.88
営業利益率		0.13%	0.21%	
経常利益		2億3,174万円	3億2,657万円	70.96
経常利益率		0.28%	0.39%	

花き部は、前年度と比較し、減収減益となった。

受託・買付物品ともに取扱数量が減少したため、兼業業務の売上高が増加したものの、総売上高は、約25億円の減収となった。

売上総利益は、兼業業務利益が増加したものの、受託販売手数料及び買付販売利益が減少したため、全体で約2億円の減益となった。

また、販売費及び一般管理費は縮減したものの、営業利益及び経常利益は約1億円の減益となった。

#### ②財務状況

事項	29年度	28年度	前期比(%)
総資産	200億5,854万円	201億1,871万円	99.70
負債	112億4,473万円	112億4,059万円	100.04
純資産	88億1,381万円	88億7,812万円	99.28
自己資本比率	43.94%	44.13%	
流動比率	171.18%	176.90%	

財務状況は、売掛金等が増加した一方、固定資産及び長期貸付金等の減少により、総資産が約1億円減少した。

純資産については、約1億円の減少であったため、自己資本比率は前年度とほぼ同じとなった。

流動比率は、流動負債の増加率が流動資産の増加率を上回ったため、約5.7ポイント下降した。

(4) 各部門の比較

項目・部類	水産物部	青果部	花き部	計
総取扱金額(売上高)	4,848億5,658万円	5,667億4,607万円	817億2,472万円	1兆1,333億2,737万円
売上総利益	222億2,206万円	386億241万円	78億6,270万円	686億8,717万円
売上総利益率	4.58%	6.81%	9.62%	6.06%
販売費及び一般管理費	214億1,025万円	363億2,207万円	77億5,906万円	654億9,137万円
営業利益	8億1,182万円	22億8,034万円	1億364万円	31億9,580万円
営業利益率	0.17%	0.40%	0.13%	0.28%
経常利益	22億837万円	29億7,780万円	2億3,174万円	54億1,791万円
経常利益率	0.46%	0.53%	0.28%	0.48%

※つげ物・鳥卵及び食肉部を除く

総取扱金額(売上高)は、青果部が約5千7百億円と最も大きい。次いで、水産物部が約4千8百億円、花き部が約820億円となっている。

売上総利益率(粗利率)は、花き部が9.62%、青果部が6.81%、水産物部が4.58%、と花き部が一番大きい。これは、総取扱金額(売上高)に占める受託販売の割合が約93%を占め、受託販売手数料率も花き部が一番高いことによる。

営業利益率は、各部門とも、売上総利益が減少したことにより、前年度より低下している。

経常利益率は各部門において営業外損益がプラスであることから、営業利益率に比して高くなっている。

<参考>

1 営業利益率

営業利益とは、会社が本業から上げる利益のこと。売上から、原材料費や仕入れ費用、販売費及び一般管理費などの本業に関わる費用を差し引いて求めたものが営業利益である。営業利益率は、企業の収益力を見るための指標であり、売上のうちのどのくらいが営業利益になるのかを見るもの。

$$\text{営業利益率} = \text{営業利益} / \text{総売上高 (受託 + 買付 + 兼業)} \times 100 (\%)$$

2 経常利益率

経常利益とは、営業利益に支払利息や有価証券売却益などの本業以外の損益を加減して求めたものである。営業利益と同様、企業の収益力を見る指標である。

$$\text{経常利益率} = \text{経常利益} / \text{総売上高 (受託 + 買付 + 兼業)} \times 100 (\%)$$

3 部類別平均単価の推移(消費税込み) 単位:円

部 類	29年度	28年度	27年度	
水 産	1,115	1,065	1,017	
青 果	野菜	260	268	256
	果実	418	405	393
花 き	切花	65	66	66
	鉢物	542	533	509

4 利益率の推移 単位:%

部 類	水 産		青 果		花 き	
	営業	経常	営業	経常	営業	経常
29年度	0.17	0.46	0.40	0.53	0.13	0.28
28年度	0.31	0.60	0.51	0.69	0.21	0.39
27年度	0.50	0.63	0.50	0.66	0.49	0.64

※・年間総括表(市場別・卸売業者別・部類別取扱高)の部類別平均価格による

- ・水産、青果の平均単価は、1kgあたり
- ・花きの平均単価は、切花は本、鉢物は鉢あたり